

平成22年度

# 北海道高等学校教育研究会 会 報

第 93 号

## ごあいさつ

北海道高等学校教育研究会

会 長 宮 浦 俊 明

盛夏の候となりました。高教研会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

高教研は昭和39年（1964年）2月に初めて開催されました。それから48年の歴史を重ねました。3年後には創立50周年を迎えますが、この間日本の学問芸術の先端を行く多くの著名な方のご講演をいただいております。第1回の全体講演は、終戦後の文部大臣、また広島大学長を経験され、中央教育審議会会長であった社会思想家の森戸辰男氏でした。最近では、40周年記念大会の講演は五木寛之氏でした。第42回大会講師の寺島実郎氏は今や日本の政治経済に大きな影響を与えています。第一日目の全体講演はその時代における日本の進路から、人間のあり方・生き方にも踏み込んで、我々に次の目標を示唆いただいております。

第48回大会の講演は、社会学者の見田宗介氏です。演題は「現代社会はどこに向かうか」を予定しています。この20年間世界が大きく変わる中で、現代社会は危機的状況にあるとして見田先生は警鐘を鳴らしています。

本研究会の目標のもう1つは、先生方に研究発表の機会を提供し、それによってさまざまな交流のためのネットワークを形成することにあります。二日目の教科部会は高教研の中心的な存在となっています。ここで多くの先生が新たな知識や指導方法を獲得し、会員相互が交流のネットワークを組み、北海道の高校教育を支える柱となっていただきたいと思います。また、本研究会は14の地区支部においてもそれぞれの研究活動を支援しています。毎年3月には、高教研発足以来続く研究紀要が会員皆さまのご協力で発刊されます。

少子化による高校の統廃合という大きなうねりの中で、本研究会も大きな曲がり角に立たされていますが、このような時期こそ時代の要請に応える高教研でありたいと願っています。

北海道高等学校教育研究会が、明日の北海道の高校教育を豊かにする人と人を繋ぐ会であることを祈念し、ご挨拶と致します。

# 平成22年度 総 会 報 告

5月12日の午後1時30分より、ホテルライフオーツ札幌において、本年度の総会が開かれました。全道から地区支部長と各教科部会長が集まり、平成21年度事業の実施報告・平成22年度事業計画の審議、役員の変更が行われました。以下、その概要をお知らせします。

## (1) 平成21年度 事業実施報告

- ア 会報 第91号発行 (平成21年7月)
- イ 大会案内発行 (平成21年11月)
- ウ 第47回北海道高等学校教育研究大会
  - ① 第1日目 全体集会 (平成22年1月6日) さっぽろ芸術文化の館ホール (旧厚生年金会館)
  - ② 第2日目 教科別集会 (平成22年1月7日) 各会場
- エ 大会要項発行 (平成22年1月上旬)
- オ 研究紀要 第47号発行 (平成22年3月17日)
- カ 会報 第92号発行 (平成22年3月17日)

## (2) 平成22年度 事業計画

### ア 第48回北海道高等学校教育研究大会

- ① 全体集会
  - 期 日 平成23年1月6日 (木)
  - 会 場 ニトリ文化ホール (旧厚生年金会館)
  - 研究主題 未来を担う人を育む北海道高等学校教育の創造
  - 日 程

9:00	10:30	12:00	13:00	13:40	15:40
本部事務局打合せ	会場設営・準備	受付	開会式	講	演

運 営 大会役員  
講 演

講 師 東京大学名誉教授 見田 宗介 氏  
演 題 「現代社会はどこに向かうか」  
司 会 者 十勝支部 北海道清水高等学校 教頭 島 芳一

## ■全体講演会講師 東京大学名誉教授 見田 宗介氏 プロフィール



1937年、東京都生まれ。1960年、東京大学文学部社会学科卒業。1965年、東京大学大学院(社会科学研究科)博士課程単位取得退学、同年東京大学教養学部専任講師、1967年同助教授。メキシコ大学院大学客員教授を経て、1982年東京大学教授、同大学大学院総合文化研究科教授を歴任。1998年、定年退官後、共立女子大学総合文化研究所教授。2008年定年退職。社会学者。専門は現代社会論、比較社会学、文化の社会学。真木悠介(まき ゆうすけ)の筆名を持つ。

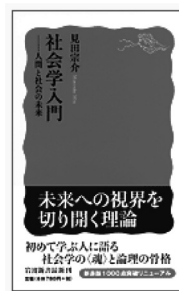
著書に「現代社会の理論—情報化・消費化社会の現在と未来」、「時間の比較社会学」、「自我の起原」など多数。

2006年に、現代の危機を分析し、人間と社会の未来を構想した『社会学入門—人間と社会の未来』(岩波新書)を刊行するなど現代社会に対して鋭い論調で警鐘を鳴らしている。また、2008年には、連続射殺事件をもとに、日本の社会構造と個人の生との関係を明らかにした『まなざしの地獄—尽きなく生きることの社会学』(河出書房新社)を刊行した。

【著書】『時間の比較社会学』(岩波書店、1981年)、『現代社会の理論—情報化・消費化社会の現在と未来』(岩波新書、1996年)、『社会学入門—人間と社会の未来』(岩波新書、2006年)、『まなざしの地獄—尽きなく生きることの社会学』(河出書房新社、2008年)、他。

【受賞】1964年 城戸賞(社会心理学)「現代における不幸の諸類型」

【主催】真木悠介個人塾「樹の塾」



② 教科別集会

期 日 平成23年1月7日(金)  
 会場・テーマ 教科部会ごとに決定(下記表の通り)  
 講師 各教科部会で決定(委嘱状・依頼状については、教科事務局で発送)  
 日程 (概要)

	9:00	12:00	13:00	15:00	15:30
受付	講演又は研究討議	昼食 (休憩)	講演又は 研究討議	部会・総会	

※部会により時程は多少異なります。

平成22年度 北海道高等学校教育研究会 教科別テーマ・会場

部会	会場	研究テーマ
国語	札幌エルプラザ または 北海道民活動センター(かでの2・7)	生き抜くためのことばを求めて ～個から地域へ、世界へつながる国語教育～
地歴・公民	北海道札幌白石高等学校	主体性を引き出す授業の創造と評価の工夫・改善
数学	札幌エルプラザ 札幌市男女共同参画センター または 札幌市生涯学習センターちえりあ	思考力・表現力を育て、学ぶ意欲を高める数学教育
理科	北海道札幌啓成高等学校	主題：科学的な自然観を育成する理科教育の実態 副題：①自然の事物・現象に対する関心や探究心を高める授業の開発 ②目的意識を踏まえた観察・実験の開発
保健・体育	北海道札幌東豊高等学校	未定
養護	札幌市教育文化会館305会議室	現代的な健康課題の解決と学校保健活動の推進をめざして
芸術	北海道有朋高等学校	豊かな感性を育む芸術教育の創造
英語	札幌大学	21世紀に生きる地球市民を育む英語教育 ～新しい流れに対応する授業をめざして～
家庭	かでの2・7	未定
農業	北農健保会館	北海道の未来を拓く農業教育の創造 ～信頼される農業高校づくりと地域経済の担い手育成を目指して～
工業	札幌全日空ホテル	新しい時代を切り開く工業教育の創造と実践
商業	北海道大学学術交流会館	創造性豊かな人材育成のためのビジネス教育
水産	北海道小樽水産高等学校	変化の激しい時代をきり拓く水産・海洋教育はいかにあるべきか
情報	北海道札幌北高等学校	内容の精査、方法の拡充 (何を、どのように扱うかの探求)

◎参加料 会員 2,000円 非会員 3,500円  
 高等学校教員は全体集会のみ、教科集会のみ参加でも参加料は同じです。  
 一般 1,000円(全体集会のみ) 1,500円(教科別集会のみ)

イ 研究紀要 第48号発行

発行 平成23年3月

ウ 会報 第93号、第94号発行

① 第93号 発行 平成22年7月

② 第94号 発行 平成23年3月(内容 第48回研究大会 内容報告等)

研究紀要執筆者募集要項

教科での研究紀要は各教科部会へ、教職一般は各地区支部へ申し出て下さい。たくさんのご応募をお待ちしています。なお執筆者は本研究会の会員に限ります。

① 原稿募集の種類

(ア) 教科は、1教科につき 25,000字以内(14件まで)

[横書き 横25文字 2段組 1段48行]

(原稿の集約・審査は各教科部会長の担当です)

(イ) 教育一般は、1編につき 25,000字以内(14件まで)

[横書き 横25文字 2段組 1段48行]

(原稿の集約・審査は地区支部長の担当です)

② 日程

執筆申込締切日 8月24日(火)(教科部会・地区支部まで)

執筆者本部決定 9月7日(火) 原稿提出締切 10月27日(水)

## 全体講演の歩み

～第21回大会以降～

回	開催年度	講師氏名	演題
21	昭58	外山滋比呂 (お茶の水女子大学教授) 伊藤 隆市 (北海道教育大学教授)	新しい人間像と教育 北からの出発
22	昭59	黒羽 亮一 (日本経済新聞社論説委員) 岡田 宏明 (北海道大学文学部教授)	なぜ 今 教育改革か 北方民族における伝統と近代
23	昭60	加藤 秀俊 (放送大学教授) 石黒 直文 (北海道拓殖銀行常務取締役)	生涯教育の将来 これからの企業の求める人間像
24	昭61	江藤 淳 (東京工業大学教授) 岡村 正吉 (北海道虻田町町長)	ことばとこころ 地方自治と教育
25	昭62	野坂 昭如 (作家) 小松 作蔵 (札幌医科大学副学長)	近ごろ思うこと 心臓移植をめぐる
26	昭63	多胡 輝 (千葉大学教授) 美濃 羊輔 (帯広畜産大学教授)	日本人と創造性 バイオテクノロジーの現状と問題点
27	平元	金田一春彦 (文学博士) 高橋 良治 (釧路市丹頂鶴自然公園園長)	日本人の心 タンチョウの四季
28	平2	菊地 元市 (青山学院大学法学部長) 高畑 直彦 (札幌医科大学神経精神科教授)	経済法秩序における公正としての正義 —日米構造協議を中心に— 心の危機と反応
29	平3	なだいなだ (精神科医 作家) 坂本 与市 (北海道文理短期大学学長)	心の底をのぞく オスとメスのエソロジー
30	平4	伊東 光晴 (放送大学教授 京都大学名誉教授) 古葉 竹識 (野球評論家)	技術革新の現在と社会の変容 耐えて勝つ
31	平5	C.W.ニコル (作家) 若井 邦夫 (北海道大学教育学部教授)	自然と人間 子どもが発達するとき —必要とあそびのあいだ—
32	平6	中村雄二郎 (明治大学法学部教授) 杉岡 昭子 (札幌国際プラザ専務理事)	共通感覚と自己表現 「故郷忘れがたく候」の旅
33	平7	河合 雅雄 (京都大学名誉教授/日本福祉大学教授) 山中 燁子 (北海学園大学人文学部教授)	人間 —進化の道からずれた動物— 世界の中の日本と日本人
34	平8	佐原 真 (国立歴史民俗博物館副館長) 横湯 園子 (北海道大学教育学部教授)	大むかしと現代 子どもを観る目 —教育臨床心理の立場から—
35	平9	浅井 信雄 (神戸市外国語大学教授) 中野 武房 (北海学園北見大学教授)	国際化と私たちの暮らし カウンセリングを体験してみませんか
36	平10	梶田 叡一 (ノートルダム女子大学学長) シンポジウム	変革期の高校教育を考える 「今こどもの心は」 —問題行動の背景を探る—
37	平11	養老 孟司 (北里大学教授)	からだと脳
38	平12	河合 隼雄 (京都大学名誉教授)	青春の夢
39	平13	阿部 謹也 (共立女子大学学長)	日本社会の構造と教育
40	平14	五木 寛之 (作家)	日本人のこころ
41	平15	毛利 衛 (宇宙飛行士/日本科学未来館館長)	宇宙の視点からの教育
42	平16	寺島 実郎 (三井物産戦略研究所所長 /日本総合研究所所長)	世界潮流と日本および北海道の進路
43	平17	吉村 作治 (早稲田大学国際教養学部教授)	夢の実現の仕方
44	平18	桜井 進 (河合塾、早稲田塾、数学講師 /sakurAi Science Factory 主催)	サウンド オブ サイエンス ジョン・ネイピア ～対数誕生物語
45	平19	金子 勝 (慶應義塾大学経済学部教授)	ニュースの嘘と教育
46	平20	阿刀田 高 (作家) 阿刀田慶子 (朗読家)	アイデアの発見
47	平21	福岡 伸一 (青山学院大学理工学部化学・生命科学科教授)	科学のおもしろさをどう伝えるか

## 平成22年度 地区支部・教科部会・事務局

### 〔役員〕 北海道高等学校教育研究会役員

〔会 長〕	宮 浦 俊 明 (札 旭 丘)				
〔副 会 長〕	木 田 清 一 (札 琴 似 工)	西 岡 憲 廣 (札 山 の 手)			
	増 田 雅 彦 (札 西)	大 久 保 政 俊 (札 南)			
〔監 事〕	岩 本 隆 (札 開 成)	大 庭 隆 (札 東 商 業)			
〔顧 問〕	尾 崎 信 夫 小 柳 六 郎	染 谷 昌 志 綾 井 健 二			
	武 田 泰 明 田 村 勸	島 隆 青 塚 健 一			
	金 間 正 克				

### 〔地区支部長〕

〔石 狩〕	新 沼 明 (札 南 陵)
〔渡 島〕	山 本 貴 司 (函 館 稜 北)
〔檜 山〕	阿 部 正 行 (奥 尻)
〔後 志〕	河 村 英 二 (留 寿 都)
〔空 知〕	須 藤 均 (深 川 西)
〔上 川〕	板 宮 克 芳 (旭 川 商 業)
〔留 萌〕	松 永 務 (増 毛)
〔宗 谷〕	橋 本 達 也 (利 尻)
〔網 走〕	後 藤 寿 樹 (北 見 柏 陽)
〔釧 路〕	田 川 芳 紀 (釧 路 湖 陵)
〔根 室〕	宮 崎 真 彰 (標 津)
〔十 勝〕	藤 本 勝 芳 (清 水)
〔胆 振〕	高 橋 廣 一 (虻 田)
〔日 高〕	池 田 成 徳 (平 取)

### 〔教科部会長〕

〔国 語〕	喜 多 清 彦 (大 麻)
〔地歴・公民〕	岡 元 賢 (札 白 石)
〔数 学〕	中 村 均 (札 手 稲)
〔理 科〕	守 屋 開 (札 大 通)
〔保健・体育〕	松 井 則 之 (札 東 豊)
〔養 護〕	黒 田 信 彦 (札 北)
〔芸 術〕	齋 藤 幸 雄 (旭 川 凌 雲)
〔英 語〕	佐 藤 嘉 典 (石 狩 南)
〔家 庭〕	新 沼 明 (札 南 陵)
〔農 業〕	新 島 山 佳 幸 (壮 瞥)
〔工 業〕	木 田 清 一 (札 琴 似 工)
〔商 業〕	横 尾 栄 二 (札 啓 北 商)
〔水 産〕	齋 藤 隆 (小 樽 水 産)
〔情 報〕	成 田 雅 昭 (釧 路 江 南)

### 〔本部事務局〕 北海道札幌旭丘高等学校

〔事務局長〕 富 田 淳 一  
 〔事務局次長〕 尾 崎 寿 春 上 家 浩 幸 川 瀬 雅 之 横 関 直 幸

## 平成22年度 地区支部、教科部会事務局

### 〔地区支部〕

地区支部	事務局校	事務担当者	〒	所 在 地	Tel	Fax
石 狩	札 南 陵	鈴木 龍昭	061-2292	札幌市南区藤野5条10丁目478-1	011-591-2102	011-591-2107
渡 島	函 館 稜 北	牧野 敏	041-0802	函館市石川町181番地8	0138-46-6235	0138-46-6236
檜 山	奥 尻	野村 俊夫	043-1402	奥尻郡奥尻町字赤石411-2	01397-2-2354	01397-2-2354
後 志	留 寿 都	宮川 明子	048-1731	虻田郡留寿都村字留寿都179の1	0136-46-3376	0136-46-3386
空 知	深 川 西	石見 清孝	074-0012	深川市西町7番31号	0164-23-2263	0164-23-2264
上 川	旭 川 商 業	我妻 公裕	070-0063	旭川市曙3条3丁目	0166-22-3556	0166-22-1064
留 萌	増 毛	吉田 聡	077-0297	増毛郡増毛町南暑寒町2丁目38	0164-53-2134	0164-53-1325
宗 谷	利 尻	元村 治郎	097-0401	利尻郡利尻町杏形字神居189-1	0163-84-2215	0163-84-2215
網 走	北 見 柏 陽	小松 将人	090-8533	北見市柏陽町567番地	0157-24-5107	0157-24-5163
釧 路	釧 路 湖 陵	田尻 勝敏	085-0814	釧路市緑ヶ岡3丁目1番31号	0154-43-3131	0154-43-3134
根 室	標 津	飯田 知男	086-1652	標津郡標津町南2条西5丁目2-2	0153-82-2015	0153-82-2021
十 勝	清 水	島 芳一	089-0123	上川郡清水町北2条西2丁目2番地	0156-62-2156	0156-62-2097
胆 振	虻 田	岩瀬張幸子	049-5605	虻田郡洞爺湖町字高砂町127番地5	0142-76-2540	0142-76-2887
日 高	平 取	長田 淳	055-0107	沙流郡平取町本町109-2	01457-2-2709	01457-2-2849

〔教科部会事務局〕

教科部会	事務局校	事務担当者	〒	所在地	Tel	Fax
国語	札新川	遠藤 彰	001-0925	札幌市北区新川5条14丁目1-1	011-761-6111	011-761-7911
地歴・公民	札白石	片桐 清実	003-0859	札幌市白石区川北2261番地	011-872-2071	011-872-2072
数学	札手稲	上西 亮	006-0829	札幌市手稲区手稲前田497番2	011-683-3311	011-683-8606
理科	札啓成	三浦 治彦	004-0004	札幌市厚別区厚別東4条8丁目6-1	011-898-2311	011-898-2313
保健体育	札東豊	佐藤 和英	007-0820	札幌市東区東雁来町376番1	011-791-4171	011-791-9116
養護	札工業	関 澄恵	060-0820	札幌市北区北20条西13丁目	011-727-3341	011-727-3344
芸術	有朋	水上夕規子	002-8504	札幌市北区屯田9条7丁目	011-773-8200	011-773-8300
英語	石狩南	松ヶ瀬 章	061-3208	石狩市花川南8条5丁目1番	0133-73-4181	0133-73-4184
家庭	札南陵	高橋 理緒	061-2292	札幌市南区藤野5条10丁目478-1	011-591-2102	011-591-2107
農業	壮瞥	林 正憲	052-0101	有珠郡壮瞥町字滝の町235-13	0142-66-2456	0142-66-2636
工業	札琴似工	荒當 聖吾	063-0833	札幌市西区発寒13条11丁目3-1	011-661-3251	011-661-3252
商業	札啓北商	久保田法順	005-0841	札幌市南区石山1条2丁目15-1	011-591-2021	011-591-2023
水産	小樽水産	古賀 英裕	047-0001	小樽市若竹町9-1	0134-23-0670	0134-23-4553
情報	札北	奥村 稔	001-0025	札幌市北区北25条西11丁目	011-736-3191	011-736-3193

〔部会長校〕 国語（大麻） 理科（札幌大通） 養護（札幌北） 芸術（旭川凌雲） 情報（釧路江南）

平成22年度 会員登録状況

・追加登録は6月15日(火)～10月20日(水)です。

(平成22年6月25日 現在)

	国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	養護	芸術	英語	家庭	農業	工業	商業	水産	情報	合計	前年合計
石狩	104	143	120	152	126	50	60	168	50	2	21	51	0	42	1,089	1,177
渡島	19	20	15	12	12	4	9	21	6	3	8	12	37	4	182	189
桧山	7	7	3	5	2	0	3	9	0	1	0	5	0	1	43	47
後志	12	11	12	11	13	1	3	11	6	19	3	11	34	4	151	175
空知	20	19	21	12	12	3	7	24	3	17	3	14	0	4	159	166
上川	20	22	17	29	12	4	8	13	2	26	11	25	0	1	190	202
留萌	5	8	7	7	4	4	1	8	1	3	4	4	0	1	57	53
宗谷	6	7	7	3	3	4	1	10	1	0	3	8	0	1	54	66
網走	16	17	19	16	17	2	3	34	8	18	6	14	0	1	171	165
釧路	16	14	17	17	10	0	4	15	1	4	5	6	10	4	123	115
根室	8	8	9	6	7	1	3	6	0	8	0	2	0	1	59	58
十勝	9	15	10	10	18	1	7	16	8	21	7	7	0	2	131	136
胆振	22	22	10	22	13	4	5	27	3	2	11	8	0	2	151	165
日高	7	7	15	11	6	2	3	10	0	7	0	3	0	0	71	71
合計	271	320	282	313	255	80	117	372	89	131	82	170	81	68	2,631	
前年合計	277	358	311	348	276	80	128	382	86	130	84	178	85	62		2,785

会員数の推移

年度	平5	平6	平7	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20
会員数	4,945	4,807	4,777	4,338	4,064	4,167	3,849	3,686	3,595	3,521	3,466	3,362	3,232	3,142	3,063	3,049

事務局から

ここ本部事務局（札幌旭丘高校）は、藻岩山のふもとに位置しており、札幌の街を展望しながら、四季折々を楽しむことができます。いま山々は、悠然と緑に包まれ、本年度も会報発行の時期となりました。

研究大会は、今年度で48回を数えるまでになりました。その間、教育をめぐる様々な課題解決に向けて、研究主題の見直しや組織・運営の改善など進めてきました。また、地区支部、教科部会の実務担当者や会員の方々からの貴重なご意見やご要望を受け、目下、本部事務局も業務改善を進めております。今後ともお気づきの点がございましたら、本部までお申し出ください。

高教研50周年記念大会まで、あと2年を切りました。そろそろ過去の会報や研究紀要等、資料の整理を始めようと思っております。

発行 平成22年7月  
 北海道高等学校教育研究会本部事務局  
 〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号  
 北海道札幌旭丘高等学校内  
 TEL 011-513-2238  
 FAX 011-513-2244